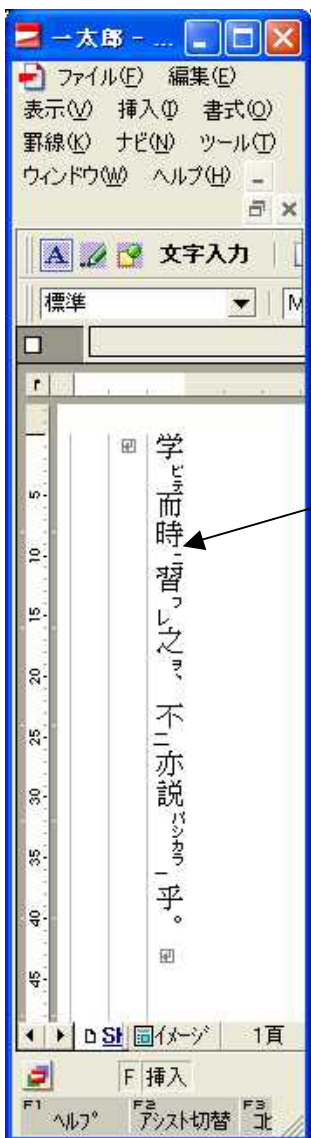


谷本メソッド

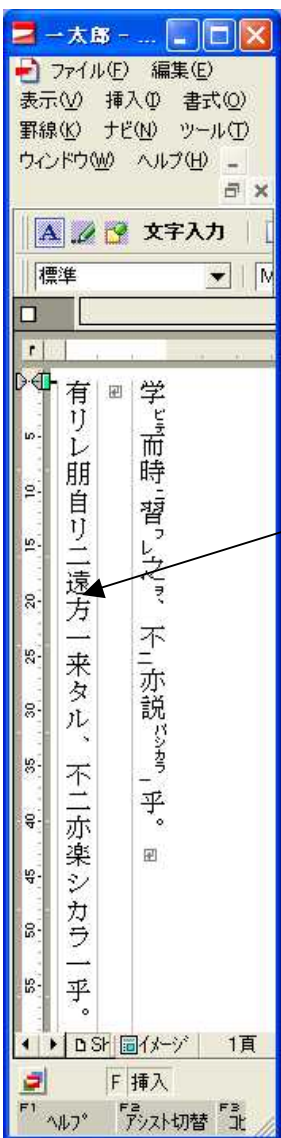
私（谷本）が漢文を一から入力するときは、「一太郎」を使用している。漢字のポイントは標準より大きくし、返り点や送りがなはポイント小さくして、ベースシフトをプラスにしたりマイナスにしたりして、左右に振っている。「ワード」で使うときには、「一太郎」で作成したものをコピー&ペーストすれば使える。一から入力するのは手間がかかるが、私（谷本）の入力した漢文を利用すれば、簡単に返り点・送りがなつきの漢文を作成できる。その方法を『谷本メソッド』と名づける。「一太郎」と「ワード」で手順が異なる。

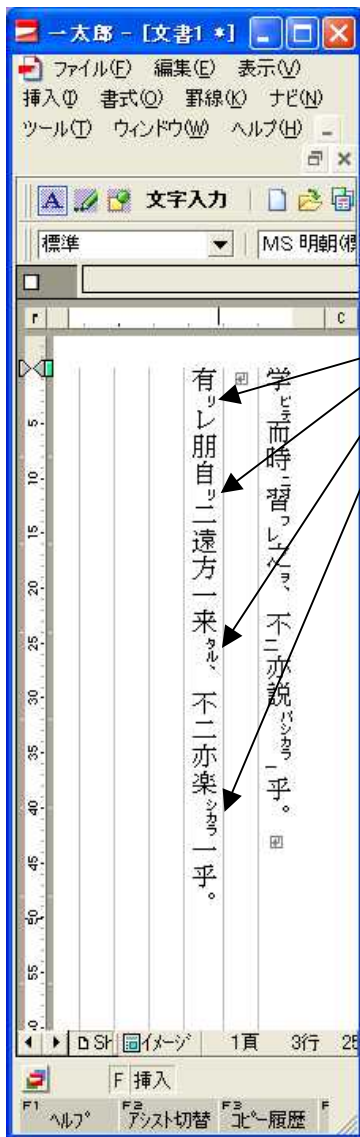
谷本メソッド「一太郎」版

1 返り点・送りがなつきの文を用意する。例文は、論語の冒頭の一文。

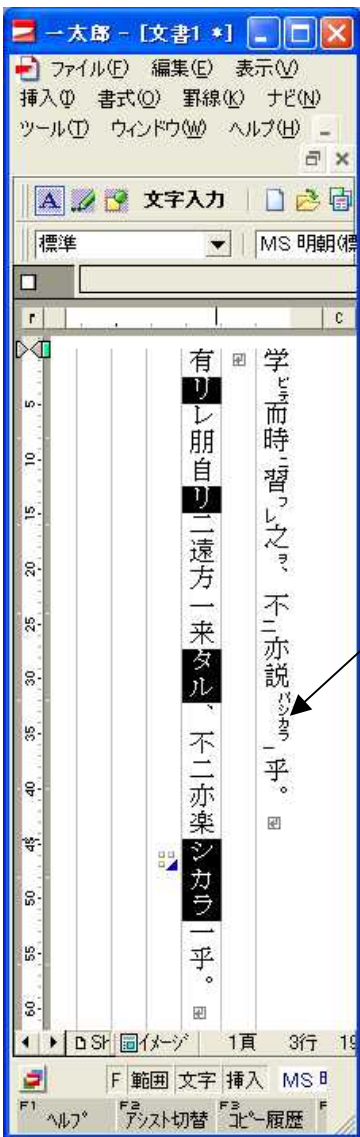


2 新たに作成しようと思つ文を、漢字・返り点・送りがな、すべて同じポイントで入力する。このとき、文字の大きさは、元の漢文の漢字の大きさにあわせる。

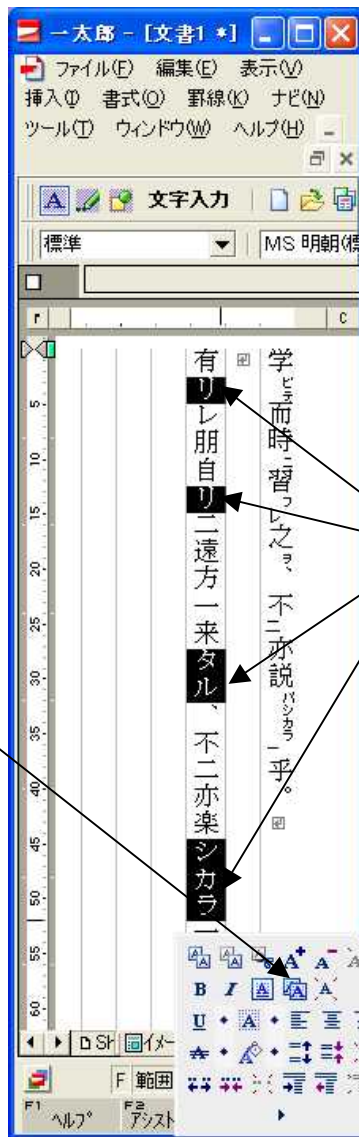




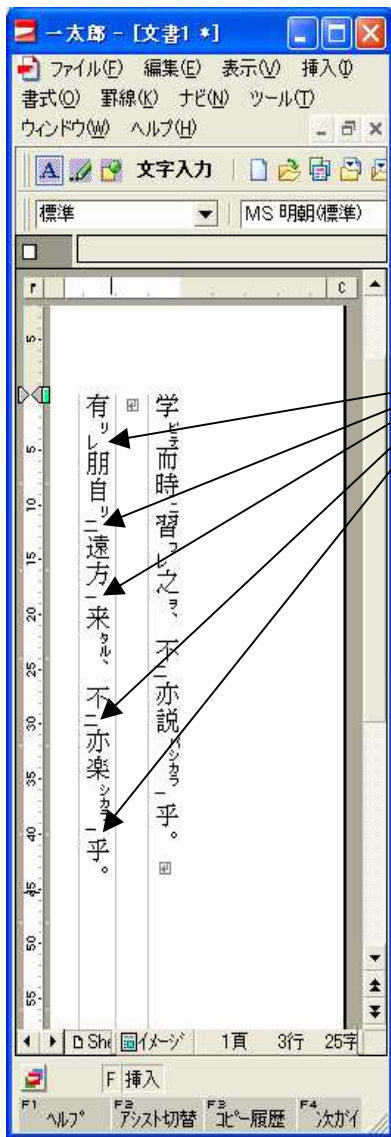
送りがながすべて変更される。



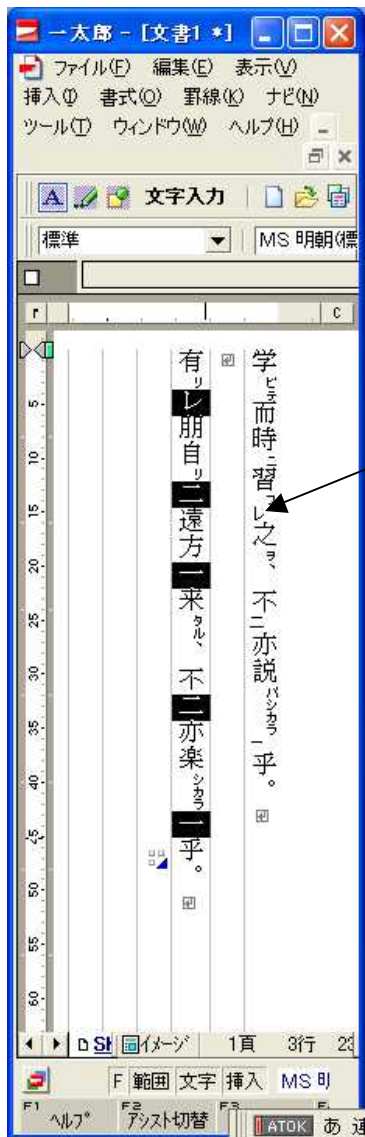
元の漢文の送りがなの適当なところをクリックする。



3 送りがなの書式を変更する。
 Ctrlキーを押しながら送りがなをすべてドラッグして反転させる。



戻り点がすべて変更される。これで完成。



元の漢文の戻り点の適当なところをクリックする。

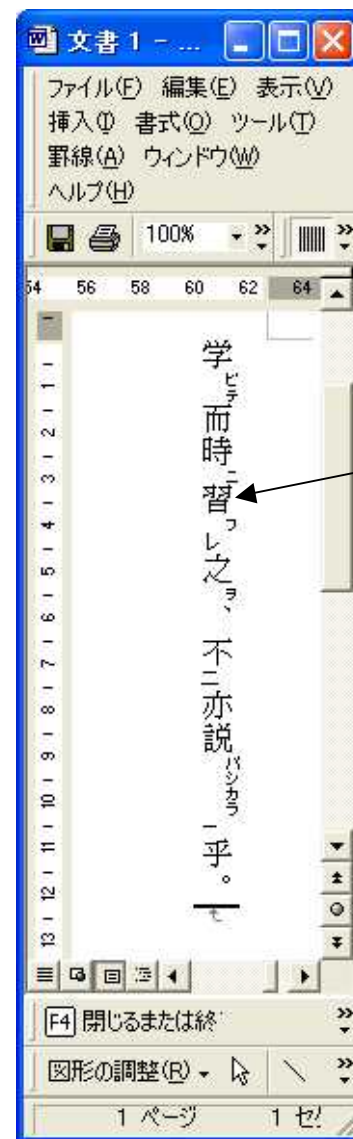


「フォント・飾りコピー」のアイコンをクリックする。カーソルが指の形に変わる。

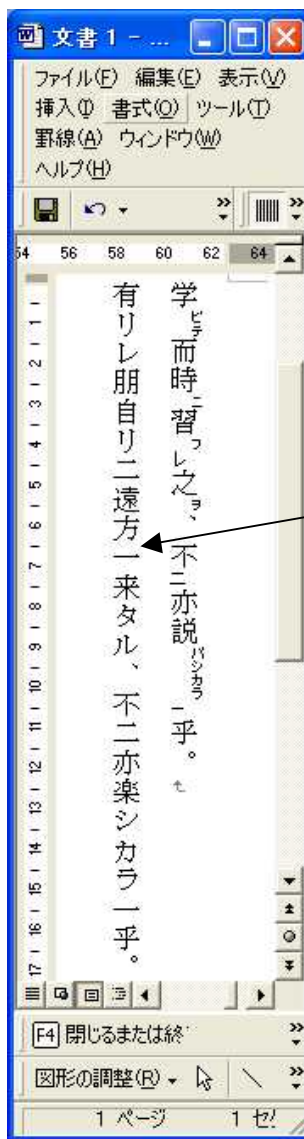
4 戻り点の書式を変更する。手順は送りがないの場合と同じ。
Ctrlキーを押しながら戻り点をすべてドラッグして反転させる。

谷本メソッド「ワード」版

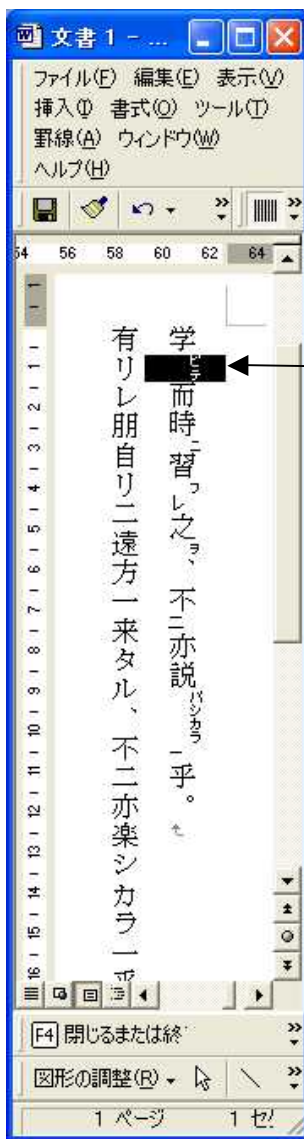
1 返り点・送りがなつきの文を用意する。例文は、論語の冒頭の一文。

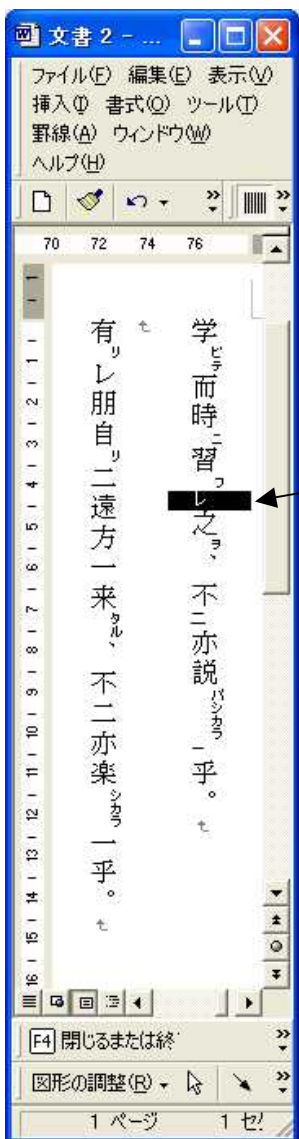


2 新たに作成しようと思う文を、漢字・返り点・送りがな、すべて同じポイントで入力する。このとき、文字の大きさは、元の漢文の漢字の大きさにあわせる。

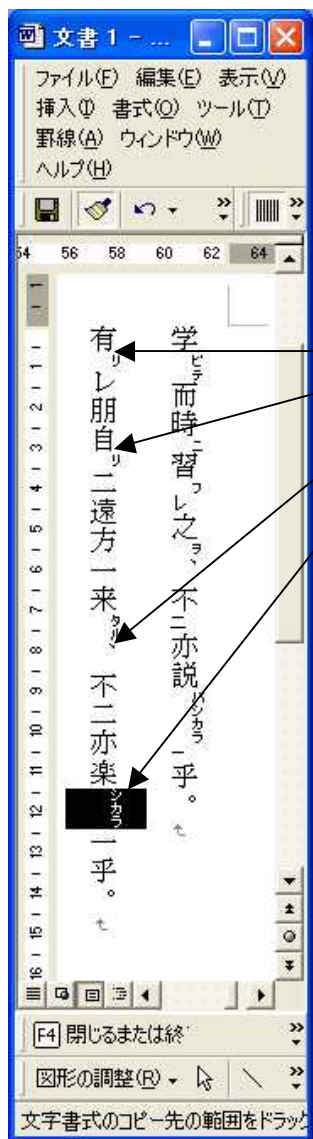


3 送りがなの書式を変更する。元の漢文の送りがなの適当なところをドラッグして反転させる。

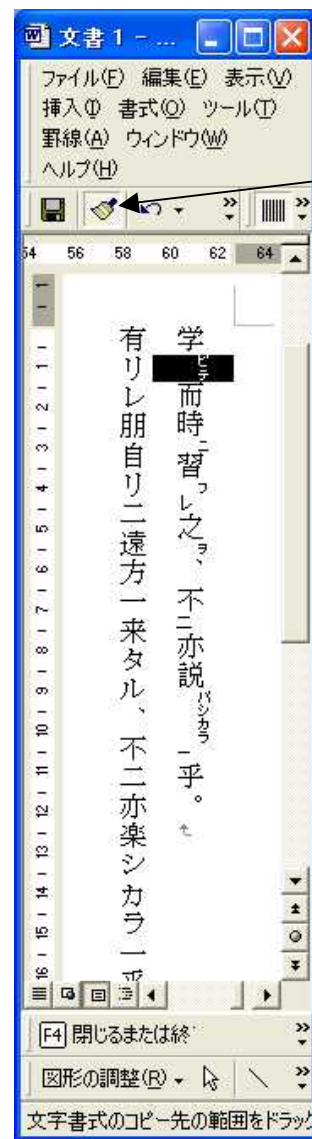




4 返り点の書式を変更する。手順は送りがないの場合と同じ。
元の漢文の返り点の適当なところをドラッグして反転させる。

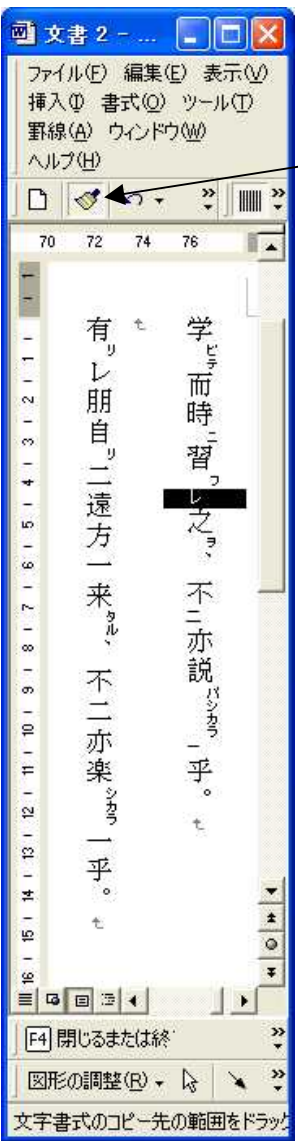


「書式のコピー／貼り付け」をやめるときは、アイコンをもう一度クリックするか、Escキーを押す。
書式を変えたい送りがないをドラッグして、連続して四か所の送りがないの書式を変える。

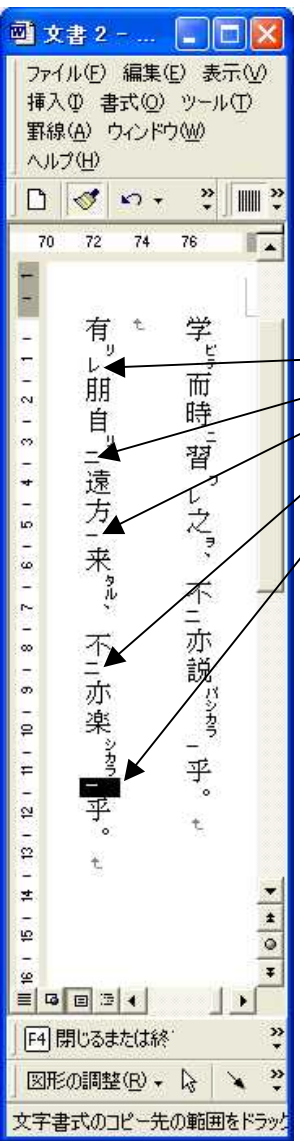


「書式のコピー／貼り付け」のアイコンをダブルクリックする。カーソルが刷毛の形になる。

「書式のコピー／貼り付け」のアイコンをダブルクリックする。カーソルが刷毛の形になる。



書式を変えたい返り点をドラッグして、連続して五か所の返り点の書式を変える。これで完成。「書式のコピー／貼り付け」をやめるときは、アイコンをもう一度クリックするか、Escキーを押す。



なお、高等学校で扱う教材の主なものは、奈良女子大学附属中等教育学校のホームページからダウンロードできます。返り点・送り仮名つき、一太郎のファイルです。

<http://www.nara-wu.ac.jp/fuchuko/>